

二一八三番

雁かりがねは 今いまは来き鳴なきぬ 我あが待まちし 黄もみち葉ちはや  
継つげ 待またば苦くるしも

二一八四番

秋あき山やまを ゆめ人ひとかくな 忘わすれにし そのもみち葉は  
の 思おもほゆらくに

二一八五番

大おほ坂さかを 我わが越こえ来くれば 二ふた上がみに もみち葉は流ながる  
しぐれ降ふりつつ

二一八六番

秋あきされば 置おく白しら露つゆに 我わが門かどの 浅あさ茅が末うら葉は  
色いろ付づきにけり